

lecture

今年、台北ビエンナーレに参加し、好評を得ているイエー・ウェイリーYeh Weli-Li(葉偉立)氏が急遽来日します。それに伴い、トーキョーワンダーサイトでは、イエー・ウェイリー氏によるプレゼンテーションを行います。台北ビエンナーレではトレジャーヒルという、台北の瘡と呼ばれた不法占拠、建築された場所にアーティストとアクティビストが係わることによって、その場所が変化してゆくプロジェクトにおける写真を展示しています。

このプロジェクトは、先日当館で開催された市原研太郎氏によるラウンドテーブル「グローバル化した現代美術—絶対に新しいアートを求めて」の最終回で、次のアートの可能性を感じさせる作品として紹介されていたあのプロジェクトです。

トレジャーヒルのプロジェクトや台北ビエンナーレ、台湾のアートシーンのいろいろな話を聞けたらと思っています。

イエー・ウェイリー プレゼンテーション

出演

イエー・ウェイリー
Yeh Weli-Li(葉偉立)



トレジャーヒル

biography

1971年、台湾の台北に生まれる。ウェイリー イェーが11歳の時、アメリカへ移住し2002年に再び台湾へ戻る。彼は1997年にアメリカのロードアイランド美術大学大学院にて写真科修士号を取得し、アメリカと台湾で幅広く展示活動を行っている。イエーのパラエティーに富んだ写真と文章は、この十年来、個人と都市の社会政治的関わりに集中し、それは彼のOguestとの関わりとOhomeのテーマの調査し記録することのより幅広い方面に続いているものを元としている。彼は1998年のニューヨーク大学でグリーンウォール財団のインターナショナルセンターのアドバンスタディーズプロジェクトのCities and Urban Knowledgesと、1999年ニューヨークのブロンクス美術館でのAIMプログラムのフェローに選ばれている。彼は2001年、ニューヨーク、ブルックリンにあるSeptemberlyスタジオで15回目の個展である「Oguest: on the Subject of Home」を成功させた。彼は「OMOCA and I」と題したプロジェクトの成功によって2002年の3月、台北当代美術館の委員会から表彰された。彼の「プロビデンス クロニクル」と題された作品は、2003年にニューヨークのインターナショナルセンターオブフォトグラフィーでの「Only Skin Deep: Representation of the American Self」に含まれている。現在、彼は台北文化局の後援で台湾のGlobal Artist Participation Project Residency Program In Taipeiでアーティストインレジデンスをしている。イエーのホアン リウとの合作による「THTP: Phase II: Delineations」と題された台北市のトレジャーヒルコミュニティをベースとしたドキュメンタリー写真プロジェクトは現在の2005年1月23日まで台北美術館で開催されている2004 台北ビエンナーレに展示されている。イエーは現在、台湾の台北にて居を構え制作を行っている。

2004年12月17日 [金] 午後7時～ (開場:午後6時30分)

会場: トーキョーワンダーサイト3階ギャラリー

参加費: 無料